

特別講演 1

演題名	在宅ケアと国際生活機能分類（ICF）
-----	--------------------

概要

在宅医療は療養者の身体だけを診るのではなく、生活を中心にして、家族や地域の人々に寄り添いながら共に歩んでゆくものです。日本人の 90%以上はやがて半介助・全介助を経て終焉を迎える日がきます。障害者になりながらも豊かな日々を送ることができるために、在宅医療が大事な支援の一つであると私は信じています。

障害者になってゆく日本人が、何を心の糧として、そして具体的な支援の拠り所としてゆけば良いのでしょうか？

答えは『生活機能』です。

生活機能は WHO が国際障害分類(ICIDH)と称していたものを、2001 年に国際生活機能分類(ICF)に改めた重要な概念です。もともと障害分類から改訂されましたから、障害者となってゆく人々の最も大事な拠り所となるのです。

生活機能とは何でしょう？

生活機能は『生きることの全体』です。

身体だけではなく周囲の人々と繋がりながら、地域で暮らしてゆく生活全般を含んだ大きな領域に関与する、私たち在宅医療の従事者に最も必要な概念です。

本講演は、在宅医療を行う『訪問診療医』としての私たちに必須の、『生活機能』について学んでいただく大事な内容であるとお考え下さい。

共に『生活機能＝生きることの全体』を学びましょう。そして療養する人の生きることの全体を支えてゆきましょう。